

## 学会バンク 演題登録マニュアル Ver.2.1

## 情報

演題タイトル、筆頭演者氏名、所属先等、共同演者等については、日本語のみの登録でも結構です。

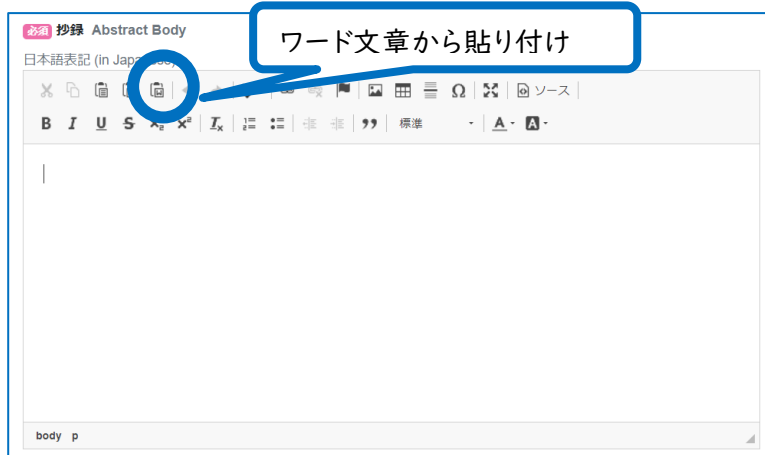
<b>必須</b> 演題タイトル Abstract Title
日本語表記 (in Japanese)
英語表記 (in English)
<b>必須</b> 筆頭演者氏名 Author Name
日本語表記 (in Japanese)
英語表記 (in English)
ご所属先等 Author Department and School Affiliation
日本語表記 (in Japanese)
英語表記 (in English)

演題のカテゴリを選択してください。

<b>必須</b> 演題カテゴリ Abstract Category
<input type="checkbox"/> 医療秘書・医師事務作業補助者
<input type="checkbox"/> 病院管理(組織運営、マネジメント、コスト管理等)
<input type="checkbox"/> 医療の質(チーム医療、個人情報管理、インシデント管理等)
<input type="checkbox"/> 文書管理(医療文書作成、電子カルテ代行入力、マニュアル作成等)
<input type="checkbox"/> 患者サービス(接遇、外国人対応、等)
<input type="checkbox"/> 教育・研修(人材育成、コーチング、教育システム等)
<input type="checkbox"/> その他

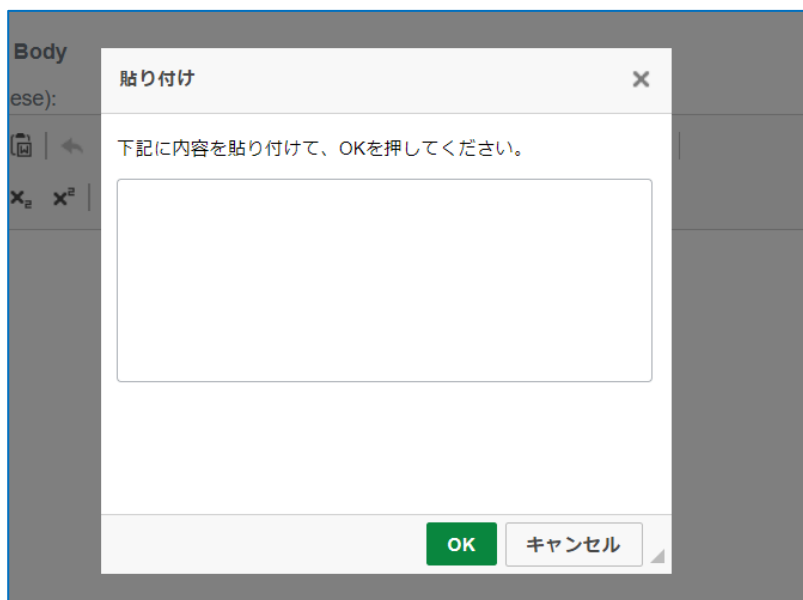
## 抄録本文

Wordで抄録原稿を作成しておく、それをコピーして貼り付けることができます。



アイコンをクリックすると、以下のようなウィンドウが表示されます。

Wordで作成した文章をコピーして、枠内に貼り付け、「OK」をクリックしてください。  
本文中にコピーされます。



(注意) 画像等は添付ファイルとして付けることができますが、参加者に対して表示される抄録ページ内には出てこない、非推奨です。

キーワード(3~5語程度)を入力してください。**日本語のみ**で結構です。

**キーワード Keyword**

演題検索のためのキーワードがあれば入力ください。複数ある場合は半角カンマ(,)で列記ください  
 \* 投稿された演題は募集締切後に演題検索/公開サービス [演題バンク](#) で公開されます

日本語表記 (in Japanese)

英語表記 (in English)

通信欄には、利益相反や倫理的配慮などについて、**該当する場合**に入力してください。  
 また、現在入会申請をされている場合には、通信欄に、その旨をご連絡ください。

**通信欄(非公開) Message Column(Not open to public)**

利益相反 (COI) はありません。  
 著者の所属する〇〇病院において、倫理申請を行い、許可されています。  
 現在入会申請中です。

投稿した演題は、演題募集期間中は加筆修正・削除が可能です。

抄録見本には項目を設定していますが、これは各自で設定していただくか、もしくは、なくてもかまいません。それぞれの研究内容・手法にあわせてください。

以下は、演題が採用され、抄録が公開された場合の画面見本です。  
 (文字数 700 文字程度)

2024/07/26 14:02 演題・抄録 #218-329

日本医療秘書実務学会 JSAMS  
 日本医療秘書実務学会 第15回全国大会(2024) (ダミー) 2024.11.23(土)~23(土) 開催

**病院における医師事務作業補助者の教育について(ダミータイトル)**

川崎花子(ダミー)  
 | 所属名 (ダミー)

**はじめに**  
 近年、医療現場において医師事務作業補助者(以下、MAとする)の役割がますます重要視されている。医師の業務負担軽減と医療サービスの質向上を目的として、MAの教育体制の整備が急務となっている。本研究は、病院におけるMAの教育プログラムについて、その現状と課題を明らかにすることを目的とした。

**方法**  
 全国の病院を対象に20xx年xx月~xx月にアンケート調査を実施した。調査内容は、MAの教育プログラムの内容、実施状況、および教育の効果に関する質問項目を含んでいる。また、具体的な教育方法や教材の使用状況についても調査した。

**結果**  
 アンケートの結果、MAの教育プログラムは各病院で多様な方法が取られていることが分かった。教育内容には、医療事務の基本知識、電子カルテの操作方法、患者対応の技術などが含まれている。教育の実施状況については、定期的な研修やオン・ザ・ジョブ・トレーニング(OJT)が主流であることが確認された。しかし、教育プログラムの統一性や標準化が欠如しているとの指摘も多く見られた。

**考察**  
 MAの教育における最大の課題は、教育プログラムの標準化と効果的な評価方法の確立である。各病院の現場に即した柔軟な教育プログラムの構築が求められる。また、教育の効果を客観的に評価するための指標や評価基準の整備も必要である。これにより、MAの専門性向上と医療サービスの質の向上が期待される。

**結論**  
 本研究は、病院におけるMAの教育プログラムの現状と課題を明らかにした。今後は、教育プログラムの標準化と評価方法の確立を目指す。さらなる研究が求められる。MAの教育を充実させることで、医療現場全体の効率化と質の向上が図られることが期待される。

キーワード Keywords  
 医師事務作業補助者, 教育システム

演題カテゴリ Abstract Category  
 教育・研修

投稿日時: 2024.7.26(金) 13:44  
 最終更新: 2024.7.26(金) 14:02